

第2回 島地川ダム水質改善検討委員会

平成20年12月9日

国土交通省 中国地方整備局
山口河川国道事務所

— 議事のまとめ —

1. 島地川ダム流入水の水質について

- 上流域からのヒ素流入量について、L-Q式(SSでも可)の精度を高めることが必要である。

→ 今後も引き続き状況の把握に努める。

－ 議事のまとめ －

2. 深層曝気及び底層水揚水・処理設備 の工法紹介(他ダム事例の紹介)

- 対策工法の効果：底層にDOを供給すると、ヒ素、鉄、マンガンが減少（沈殿）する。好氣的な状況では溶出しないが、DO供給を止めると再度嫌気化し、再溶出してくる。（共通認識）

— 議事のまとめ —

3. 水質目標(案)

- ヒ素は環境基準である0.01mg/l以下とする
- 鉄・マンガンは着色しないことを目安とする。(参考値:水道水基準[鉄:0.3mg/l以下、マンガン:0.05mg/l以下])。
- 島地川ダムにおいての鉄・マンガン目標値については再度検討を行う。

－ 議事のまとめ －

4. 島地川ダム水質対策工法(案)

- 水質対策工法は、今回提示の案で詳細検討を進める。
- 流入対策、流入したものをどのように取り扱うかについても検討する。